

設備工事情報シート	衛生	Ⅱ－P－92	制 定	2019年3月1日
Ⅱ．メーカー情報	貫通ブロック・排水ブロック		富士機材編	

1. 目的・概要

近年、住宅やホテルの部屋と廊下を区画する壁の施工に乾式壁を用いる例が多くなっている。ここを給水管や給湯管あるいは排水管を貫通させる場合、多くは壁を施工の後、穴あけの作業や配管敷設後の防火区画の処理など、煩雑な作業が多くなり、手間と時間を要することとなる。

そこで、施工の省力化を目的とした、貫通ブロック・排水ブロックを紹介する。

2. 貫通ブロック

樹脂管を用いた給水管や給湯管の施工に貫通ブロックを使用することにより、穴あけの作業や、防火区画の処理がいらなくなる。



完成品



鋼製の型枠に耐火プラグを巻いてサヤ管をと通したもの



施工例

資 料

3. 排水ブロック

排水配管については、排水ブロックを使用することにより穴あけの作業が不要になり、配管スペースを事前に確保することができる。配管を施工したのちにロックウールで簡単に詰めて作業完了となる。



製品外観



施工例（貫通ブロックと排水ブロック）

※事前に諸官庁に確認が必要です。

4. 問い合わせ先

富士機材株式会社 〒102-8373 東京都千代田区一番町12
設備営業部 西田 善文 TEL 03-3556-4583 FAX 03-3556-4603